



# 高水地協ニュース

連 合 長 野  
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和

○ 編集責任者 宮本多喜広

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

## 2019 春季生活闘争高水地区総集会開催

**「今こそブレイクスルー!」「すべての労働者の処遇と働き方の見直し!」をはかるため、最後の最後まで団結して闘おう!!**



北信地区総決起集会

全国の主要大手組合が春季闘争の山場を迎える中、追従する地協構成単組の団結と情報の共有をはかり、本闘争の勝利に向けた意識結集を目的に、北信地連では北信地区労組会議との共催活動として、須高地連では地域の労働団体との共催により 2019 春季生活闘争地区総決起集会を開催しました。また、各会場へは連合長野の中山会長をはじめ、大勢の来賓にご臨席いただいて激励の挨拶を受けました。

### <北信地連>

日 時：2019 年 3 月 6 日（水）午後 6 時 30 分～

会 場：中野市中央公民館（三階講堂）

アピール：集会アピール、3.8 国際女性デーアピール採択

決意表明：しなの富士通労組、農団労中野市労組、全コシナ  
関連労組、飯山市職員労組

ご 来 賓：中山会長、小林東一郎県議、高山恒夫飯山市議、  
中村明文中野市議

参加規模：労組会議を含め 18 単組・261 名

〔小林正孝 北信地連会長挨拶〕

2019 春季生活闘争は、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、私たち労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争であり、3 月決着をめざす産別・単組は後半の取り組みに向ける大事な時期を迎えている。

日本の人口は、内閣府の各種白書において 2017 年 10 月現在 1 億 2,672 万人、年齢区分毎の比率は 65 歳以上が 3,515 万人で全体の 27.7%、つまり 3 人に 1 人は高齢者である。また、15 歳未満の子どもの数は 1,559 万人で 12.3%、生産年齢人口（15 歳～64 歳）は 7,596 万人で全体の 60%の状況であると言われており、いま超少子高齢化による人口減少に突入し、2065 年では 8,808 万人の人口予測である。よって、労働力の不足は不可避かつ継続的な前提であるのに加えて、第

4 次産業革命などを始めとする技術革新の加速化など、予測困難な変化が待ち受けていると言わざるを得ない。また、今年は景気回復の兆しがあるという曖昧な言葉で「財政再建」を目的に消費税が 10%へと引き上げられる予定であり、消費税導入時の 3%から 8%へと増税されたが、本当に財政再建されているのだろうか。そして、私たちの生活は豊かになっているのでしょうか。いま国のデータ不信の中で厚生年金保険料の値上げ等、実質可処分所得は減少に向かい、我々には負担増としか感じられない。

「経済の自律的成長」ならびに「社会の持続性」を実現するためには、すべての働く者の「底上げ・底支え」や「格差是正」による継続した所得の向上を実現するとともに、社会保障と税の一体改革の実現の取り組みなどによって将来の不安を払拭し、消費の拡大をはかっていくことが不可欠となる。加えて、賃金の社会的水準を重視した取り組みを継続するとともに、それぞれの段階で生み出される付加価値は、安全で働きがいのある職場が基盤にあってこそ生み出されるものであり、2019 春季生活闘争では、健全で安全な働きがいのある職場の実現が同時に推し進められるよう、社会に向けても発信して行こうではないか。また、社会や経済を自律的かつ持続的に成長



小林地連会長



連合長野 中山会長

させるためには、多様な「人財」の活躍とそれを互いに許容する「包摂的な社会の構築」が不可欠であり、人財たるべき労働者はそれぞれの状況もニーズも多様で、個々人の状況やニーズに合った働き方が選択でき、かつ加速度的に進む技術革新に対応して生産性を向上させ、それに見合った処遇が確保できるようにすること、言い換えれば「ディーセント・ワーク」の実現が必要であり、それを可能にする「人的投資の促進」が社会的な課題である。さらに、昨年 7 月に国民の前で内容の精査がされぬまま成立した改正労働基準法は、一部の企業に猶予期間はあるものの、今年から施工される。法を活かすには、連合が昨年 10 月キックオフした「アクション 36」に掲げる 36 協定の締結をはじめとする労働法制について、労使での取り組みが重要となる。



高山恒夫 飯山市議

正規・非正規労働者を問わず、長時間労働を是正し、個々人のニーズにあった多様な働き方を選択できる仕組みを整え、そして個々の能力を高め、それによって生み出された労働の質的向上分に応じた適正な処遇を確保するとともに、わが国における賃金決定メカニズムとしての春季生活闘争の

重要性を再認識し、社会に広がりを持った運動としていく必要がある。その基盤となるのは、これまで労使で確認してきた「雇用の維持・拡大」「労使の協力と協議」「成果の公正分配」の生産性三原則のもとで、生産性向上の重要性を今一度「社会的合意」としていかなければならない。また、社会・経済の活力の原動力は「人」であり、労働者を労働力ではなく「人」として尊重する社会の実現のためには、労働組合自らが仲間を増やしすべての職場や地域で集团的労使関係を拡大していくことが重要であるからこそ、組織拡大に全力で取り組んでいこう。我々構成単組は一致団結して、社会の不条理や格差の拡大を許さず、正規・非正規、組織・未組織を問わず、すべての働く者の生活の底上げをはかるため、連合の「今こそブレイクスルー！すべての労働者の処遇改善と働き方の見直し！」をスローガンに、「人的投資の促進」「ディーセント・ワークの実現」「底上げ・底支え」「格差是正」「全ての労働者の立場にたった働き方」の実現に向けて、果敢に闘っていかうではないか。



小林東一郎 県議



中村明文 中野市議



開会宣言の北信地区労組会議の田中尚功議長



決意表明/しなの富士通労組湯本執行委員



決意表明/農団労中野市労組山本委員長



決意表明/全コシナ関連労組土屋書記長



決意表明/飯山市職員労組萩原議長

## ＜須高地連＞

日 時：2019 年 3 月 8 日（金）午後 6 時 15 分～

会 場：須坂市役所多目的広場（野外）

アピール：集会アピール、3.8 国際女性デーアピールの採択

決意表明：須坂市職員労組、明治産業労組

ご 来 賓：中山会長、下条県労組会議副議長、細尾県労連議長、須坂市議会議員（岩田修二、竹内勉、久保田克彦の各氏）  
参加規模：他団体を含め 18 組合・380 名

集会のあと、参加者全員によりシュプレヒコールを連呼しながら、力強く須坂駅前までデモ行進を行いました。

### 〔萩原公和 須高地連会長挨拶〕

3 日後の 3 月 11 日で東日本大震災発生から 8 年。いまだ 4 万人が避難を余儀なくされ 1 万人を超える方々が仮設住宅に入居しているなど、多くの人たちが被災する前の日常を取り戻せず、悩み苦しんでいるということを私たちは忘れてはならない。これからも、社会全体で復興への歩みを支えていくことが重要であることを確認したい。今日 3 月 8 日は「国際女性デー」にあたり、1908 年の今日、ニューヨークで働く女性たちが低賃金・長時間労働に抗議したデモ行進が始まりでセクハラ、マタハラ、パワハラなどあらゆるハラスメントをなくし、長時間労働を是正させ「働きがいのある労働環境」を構築していかななくてはならない。

いま我々が必至で取り組んでいる 2019 春季生活闘争において、経団連は「月例賃金の引き上げではなく年収ベースで考えることが必要だ」と言っており、それでは賃金が上がったという実感が持てず、私たちの消費意欲は湧いてこない。今の政権になってから法人税が減税され、大企業の内部留保が増えつづけている一方で、労働分配率は下がり労働者の賃金が上がっていないことが数字に表れている。GDP の 6 割を占める個人消費が伸びなくては景気回復が見込めず、消費拡大のためには月例賃金を引き上げることが重要であり、今春闘では月例賃金の引き上げに拘った積極的な交渉を展開していく必要がある。いま国会は、毎月勤労統計の不正問題で紛糾している。強大な権力を持った政権に対して省庁が忖度し、ねつ造・隠ぺい・不正が繰り返されているからである。

他方、沖縄の辺野古への基地移設の是非を問う県民投票で反対票が 7 割を占め、沖縄県民の意思がはっきりと表示されたにも関わらず、国は工事をやめようとしめない。また、内閣支持率と運動していると言われる株価を維持するために、我々の大切な年金を勝手に運用し、日銀も投資で下支えしているなど、世



萩原議長





中山会長

界経済の先行きが不透明な中で大きな損失が出るリスクを孕んでいる。我々は、こんなことを決して許してはいけない。

今年は、政治の流れを変える絶好のチャンスである。今月 29 日に告示される県議選で、自民党は過半数を取るために各選挙区で積極的に候補を擁立しているが、それを阻止するためにも、我々は連合長野が推薦する 14 名の候補予定者、とりわけ中野市・下高井郡区小林東一郎氏の必勝に向けて、積極的に取り組まなければならない。そして 7 月には参議院議員選挙が施行される。皆が投票に行き、その行動により投票率を引き上げることで、現政権を退陣に追い込むことができる。県議選とともに参議院選の勝利のために各位のご尽力をお願いし、主催者を代表しての挨拶とし

たい。今春闘、最後の最後まで共にがんばろう。



須高地区総決起集会

### 2019 春季生活闘争総決起集会アピール

われわれは、本集会において「今こそブレイクスルー！すべての労働者の処遇改善と働き方の見直し！」のスローガンのもと、2019 春季生活闘争を粘り強く闘い抜く決意とともに社会全体の課題解決に向け、あらためて自身の役割を認識・共有して取り組んでいく決意を確認した。現在、すべての組合は月例賃金に拘り、自らのめざす「賃金水準」の獲得にむけて精力的に交渉を進めている。特に、日本経済の屋台骨である中小企業で働く労働者、雇用労働者の約 4 割を占める、いわゆる非正規労働者の処遇改善は日本経済を自律的に成長させるためにも不可欠である。企業規模や雇用形態の違いにかかわらず、それぞれの働きの価値に見合った水準をめざし、何としても「底上げ・底支え」「格差是正」を実現していかなければならない。同時に、改正労働基準法の施行を目前に控えた今、法令遵守はもとより、長時間労働の是正、同じ職場で働くすべての労働者の雇用安定と均等・均衡待遇の実現に向けて、職場を熟知する労使が知恵を絞り、健全で安全で働きがいのある職場を実現していく。そのためにも、働き方も含めたサプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配に取り組み、「取引の適正化」を社会全体の 大

きうねりにしていく。さらに、働く者の「総合生活改善」のためには、働く者・生活者の立場で政策実現に全力で取り組む必要がある。すべての世代が安心できる社会保障制度の確立など、社会保障と税の一体改革をはじめとした重要政策課題は山積している。春季生活闘争と労働運動の両輪である「政策・制度実現の取り組み」を、「クラシノソコアゲ応援団」のメンバーである「連合長野推薦議員」と連携し、課題解決に向けた総がかりの運動を展開する。

2019 春季生活闘争は最初のヤマ場を迎える。労使は社会的責任を果たすため、いよいよ答えを出す時である。すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現こそが、日本社会・地域社会の持続性を確保するための原動力である。すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻すため、われわれは要求趣旨に沿った回答を引き出すことに全力を挙げ、その成果を社会全体に波及させていく。組織の総力を結集し、最後の最後までともに闘おう！

2019 年 3 月 6 日

2019 春季生活闘争高水（北信・須高）地区総決起集会

### 3.8 国際女性デー アピール

3.8 国際女性デーは 1857 年にニューヨークで起きた工場火災で、多くの女性たちが亡くなったことを受け 3 月 8 日に低賃金・長時間労働に抗議する集会が開かれたことが起源です。その後、国連においてこの日は「女性の権利と平等のために闘う記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに今も世界各国で様々な行動が展開されています。

連合は、1996 年から春季生活闘争の中に国際女性デーの行動を位置づけ、全国統一行動を実施し、2019 春季生活闘争 3.8 国際女性デーは“職場のハラスメントをなくして男女平等を実現しよう”をテーマに統一行動を行います。

女性活躍推進法が 2016 年 4 月に施行されてから約 3 年が経過しましたが、世界経済フォーラムが発表する国際的な男女間格差を示すジェンダーギャップ指数は、149 カ国中で 110 位、主要 7 カ国では最下位となっています。特に女性の管理職比率、平均勤続年数は上昇傾向にはあるものの、諸外

国に比べても低い水準にとどまっており、男女間賃金格差はいまだ解消されていません。また、国内外でハラスメントの問題が頻発し、ハラスメントを告発する #Metoo（ハッシュタグミートゥー）をはじめ、“ハラスメントを許さない”運動が広がりを見せています。連合が 2018 年に実施した調査でも 6 割以上の組合が「過去 3 年間に会社や組合にハラスメントに関する相談があった」と答えており早急に職場実態の把握と対策を進める必要があります。

このような中、ILO は 設立 100 周年にあたる本年 6 月の総会で「仕事の世界における暴力とハラスメント」に関する条約を採択する予定です。また、現在開会中の国会では女性活躍の推進とハラスメント防止対策等に関する法案が審議される予定ですが、労働側が強く求めてきたハラスメント行為を禁止する規定が盛り込まれていないなど、多くの課題が残されています。より実効性があり、条約の批准へとつなげる取り組みが、私たちには求められています。連合

・連合長野は2019春季生活闘争の取り組みを通じて「男女間賃金格差の是正」と「男女平等の推進」、「育児や介護と仕事の両立にむけた環境整備」、「ドメスティック・バイオレンスを含むあらゆるハラスメント・暴力の根絶と差別禁止」に取り組んでいます。そのためには、全ての職場で労使協議を積み重ね職場点検の取り組みを推進していくことが必要です。

本集会に集まった一人ひとりの「行動」がなければ男女平等参画社会は実現できません。私たちは、すべての人たちが性別に関係なく、人権が尊重され、男女が平等・対等に働くことのできる男女平等参画社会を実現し、「働くことを軸と

する安心社会」をめざします。ともに大きな声をあげ、ともに行動していきましょう！！

2019年3月6日

2019春季生活闘争・国際女性デー長野県行動

2019春季生活闘争北信・須高地区総決起集会

#MeToo（ハッシュタグミートゥー）は、「私（me）も（too）」を意味する英語に、ハッシュタグ（#）を付した言い回し。セクシャルハラスメントなど、性的虐待の被害体験を告白・共有する際に、ソーシャル・ネットワーキング・サービスで使用される。

## 第90回地区メーデーの企画・準備始める

高水地協は、例年通り北信地連が主体となる「北信地区メーデー」と、須高地連が主体となる「メーデー須高地区大会」の二会場にて開催します。北信地区メーデーは、連合運動に賛同する団体へ参加を呼びかけた実行委員会を結成、一方の

須高地区メーデーは、地域の全労働団体を対象とする実行委員会を発足させて、今後具体的な準備を進めていきます。なお、5月1日は新天皇の即位の礼に当たることから、実施日は両会場とも4月27日（土）となります。

### ■北信地区メーデー（企画概要）

開催日時：2019年4月27日（土）

午前8時30分集合（9時～12時）

会 場：飯山市交流館“なちゅら”

〔実行委員会役員〕

委員長	小林 正孝（連合長野・北信地連会長）	委 員	梶田 剛志（連合長野・北信地連副会長）
副委員長	千田 尚功（北信地区労組会議議長）	〃	福本 匡志（北信地区労組会議副議長）
事務局長	大谷 純人（連合長野・北信地連事務局長）	〃	芝内 七郎（部落解放同盟中高地区協副議長）
事務局次長	手塚 貴（北信地区労組会議事務局長）	〃	下田 由人（中高地区憲法を守る会会長）
委 員	村田 光広（連合長野・北信地連副会長）	会計監査	山本 寛（飯水岳北建設労組書記長）

進行次第：集会⇒市中行進（JR 飯山駅前・飯山駅南・かえで通り・本町・坂上交差点）⇒アトラクション

参加規模：29 単組・団体で 500 名

### ■メーデー須高地区大会（企画概要）

開催日時：2019年4月27日（土）

大会は午前10時（終了12時30分）

会 場：須崎市百々川緑地公園

進行順序：デモ行進（2地点より8時50分出発）⇒コーラス隊の合唱⇒集会⇒アトラクション

参加規模：20 単組・団体で 900 名

＜実行委員会の発足＞※4月10日の三団体合同幹事会にて実行委員会を発足予定。以下、実行委員会役員予定者です。

委員長▷荻原公和（連合須高）、副委員長▷小林貴彦（労組会議）、越 満（須高労連）、武井徳夫（勤労協）、宮本多喜広・富澤聖弘（連合須高）、森 文孝（労組会議）、斎藤 稔・米山弥生（須高労連）、事務局長▷富澤一明（連合須高）、副事務局長▷飯川慎一（労組会議）、齋藤宏子（須高労連）、委員▷原山 豊、宮本千春、山崎都紀子、矢島純恵、西村匡弘、酒井茂男、篠塚和典、黒岩 浩、松崎喜和、西澤新吉、石橋誠直、牧 京子、古川幸雄、榎澤寿之、北村幸範、村石 保、中沢和希、北澤佳一、金箱高広、小坂ユミ、丸山 聡、宮尾伸幸、泉 正和、柳原一彦、山田夏生、中塚寛之、久保田三和

## ＜フリーパス券の販売予定＞

地区メーデーのイベント企画として、本年度についても「北信州親子あれあいフリーパス券」の販売を予定しておりますが、現時点では詳細が確定しておりません。フリーパス実行委員会より発券の連絡があり次第、所属単組へお知らせ致しますので、大勢の方のお買い求めをお願い致します。



以上